

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。地域の行事など、身近な情報をお寄せください。

園地域づくり振興課 広報くじ担当 ☎52-2116 FAX52-3653

森林や産業を学ぶシイタケ植菌

原木シイタケ植菌体験 11月11日



ほど木にシイタケの種駒を打ち込む児童

久喜小学校で原木シイタケの植菌体験が行われ、全校約30人が森林の役割や地域の産業を学びました。6年生の川戸道柚妃さんは「森林が無くなると土砂崩れが起きやすくなるのが分かりました。シイタケは好きなので収穫できるのが楽しみです」と期待を膨らませました。

オリジナルカラーの恐竜作り

恐竜DIYワークショップ 11月1日



真剣に色塗りをする参加者

恐竜のフィギュアに色を塗って自分だけの恐竜を作るワークショップを、道の駅いわて北三陸で開催しました。参加者はパーツを分解し、ペンで思い思いに色塗り。年中児の前原史弦さんは「色が混ざって楽しかったです。頭の色塗りがうまくできました」と笑顔を見せました。

ふるさとの魅力を発見

夏井小学校ふるさと体験学習 10月30～31日



サケを切り分ける児童(上) あら汁の味に思わず笑顔の児童

夏井小学校の5、6年生6人が待浜で漁業や民泊を体験しました。郷土料理作りでは、食の匠の土畑登美江さんの指導で鮭を使いあら汁や唐揚げを調理。5年生の西川城聖冬さんは「魚を入れて汁を作るのは初めて。食べたことがない味でおいしいです」と目を輝かせました。



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



大石 純夫
リポーター

受け継がれる郷土の味

第5回まめぶ展・郷土食フェスタ 10月26日



まめぶに舌鼓を打つ来場者

おらほーるで第5回まめぶ展・郷土食フェスタが開催され、市内外から約200人が来場。7集落と1団体の8種のみめぶの食べ比べを楽しみました。二戸市から訪れた外田史子さんは「集落ごとにとろみや具材、味付けが違ってどれもおいしかったです」と笑顔を見せました。

安全運転の事業所を表彰

優秀安全運転事業所表彰 10月31日



賞状を掲げる鹿糠営業課長(中央)と受賞事業所の従業員

県警察と自動車安全運転センターが優秀安全運転の市内3事業所を表彰しました。3年間の無事故無違反率などが評価され、プラチナ賞を受賞した久慈新港運輸の鹿糠裕太営業課長は「受賞に満足せず、引き続き安全意識を周知徹底していきたいです」と決意を新たにしました。

十三夜・お月見会開催

コスモス園で宴の夕べ 11月2日



「芸と農の里なついをもっともっと盛り上げましょう！」とあいさつ

中秋の名月と並び称される旧暦の9月13日「十三夜の月」を祝う会が夏井のコスモス園で開催されました。夏井小学校児童のコスモス園絵画展示や芸能披露が行われ、有志が地域への思いを熱弁。宴の終盤に雲間から十三夜の月が輝き、夏井の里を祝福しているようでした。(梅沢)

エゴマで仲間づくり

エゴマ(じゅうね)の脱穀作業 10月30日



乾燥させたエゴマの束を、マドリ(昔ながらの道具)でたたいて脱穀

小久慈まちづくり協議会のじゅうねチームがエゴマの脱穀作業を行いました。エゴマは令和3年から休耕地を活用して栽培。15人がマドリと呼ばれる棒で叩いて脱穀を行いました。収穫したエゴマは洗浄を行い、油を搾って小久慈朝市で販売。完売する人気でした。(大久保)



まちのわだい

地域の鉄道に親しむイベント

第16回秋のさんてつ祭り 11月1日



1/車両のおもちゃを机から落ちるぎりぎり止める三鉄チキンレース 2/三陸鉄道の車両模型を見つめる来場者 3/さんてつくと記念撮影をする子どもたち 4/車掌体験に笑顔の子ども

三陸鉄道秋の恒例イベントが三陸鉄道久慈車両基地で開催されました。会場では車両のおもちゃを使ったゲームや小さい模型の運行など三陸鉄道ならではの企画を実施。フリーマーケットでは、三陸鉄道のグッズのほか貸し切り運行のダイヤ表や硬券など珍しい品も売り出され、人気を集めました。荒天の影響で、軌道自転車体験や久慈-普代間の無料体験乗車は中止になりましたが、休憩所として解放された車両では車掌体験が開催され、来場者が車掌になりきって車内放送に挑戦しました。

家族と訪れた山口ゆいさんは「開放された車両に乗ってみて、次は三鉄を利用してでかけてみたいと思いました」と目を輝かせました。

日本の伝統芸能を体感

文化庁舞台芸能等総合支援事業学校巡回講演・狂言教室 10月29日



柿を盗み食いする山伏を懲らしめる狂言「柿山伏」を鑑賞する生徒

大川日中学校で能と狂言の鑑賞会が開催され、生徒や地域住民が伝統芸能に理解を深めました。3つの演目を鑑賞し、ワークショップでは狂言の基本姿勢や動きを体験。3年生の峠館百花さんは「今の言葉との違いや楽器演奏が興味深く、面白かったです」と目を輝かせました。

秋空の下で爽やかウォーキング

野田村潮風トレイルコースを歩く！ 10月24日



防波堤を歩く参加者

長内市民センターが潮風トレイルウォーキングを開催し、参加した20人が野田村のコースを歩きました。三陸鉄道陸中野田駅を出発し、堤防から十府ヶ浦海岸や商店街、神社などを回って駅へ約2時間かけてウォーキング。秋空の下、爽やかな時間を楽しみました。(大石)